

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立浅野川小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒920-0207

石川県金沢市須崎町子 42 番地

E-mail asanogawa-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/asanogawa-e/

幼児児童生徒数 男子 182 名 女子 185 名 合計 347 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

(1) 活動の概要

当校は、「私達の浅野川、私達の金沢～知る・学ぶ・伝える～」を学校理念として、ESD を自然・地域・伝統文化の継承と捉え、ESD の実践を通して情報収集・活用能力の育成を目標とした。

具体的には、校区や金沢の伝統を伝えることを柱に、①校区の自然や地域の文化を調べる活動、②偉人から学ぶ教育、③食文化に関わる体験学習、④金沢のよさを調べ、伝統文化の体験学習を行った。

① 校区の自然や地域の文化を調べる活動

平成 27 年に町の活性化を目指して作られた「浅野川音頭」を知り、全校にその目的や踊りを広めた。浅野川鉄道や昔のかたづ小学校について地域のお年寄りから聞き取り、浅野川校区のよさを見つけた。校区の歴史や踊りについて理解し、浅野川校区に対する思いにふれることができた。各町会がより密接になることや浅野川の自然や浅野川電車を守りたいという願いを金沢市立兼六小学校の 3 年生に伝えることで、校区の自然や文化をもっと大切にしていきたいという思いをもつことができた。

② 偉人から学ぶ教育

金沢の偉人を一人決め、金沢ふるさと偉人館の見学やインターネット、本等でその業績や幼少期のエピソードを調べた。新聞や6年生を送る会で全校・地域へ向け発信した。また地域の偉人、高光一也氏について全員で学んだ。偉人の業績や生涯を調べる中で、一人の人間としての生き方を学ぶことができた。ふるさとへの偉人について、誇りに思う気持ちや後に続けたいという気持ちを新聞や送る会等で表現することができた。

③ 食文化に関わる体験学習

加賀野菜の歴史等を調べ、実際に育てて収穫し味わった。サツマイモ農家での収穫体験や農業センターの方にお話を聞くなど、様々な活動をした。年間を通しての交流の最後には、収穫した野菜等で料理を作りお世話になった方々を招いて感謝の会を開いた。「加賀野菜を食べてみたい!」という児童の思いをもとに、加賀野菜に興味をもって調べ、収穫する姿が見られた。その結果、生活の中で加賀野菜を意識する児童も多くなった。お世話になった方に思いを込めて、自主的・計画的に感謝の会を開く姿が見られた。

④ 金沢のよさを調べ、伝統文化の体験学習

金沢の名所と伝統文化を調べ、加賀友禅体験、金沢めぐり等を通して伝統を守り続けている職人の思いや金沢のよさを知り、リーフレットやパンフレットを作成した。さらにプレゼンテーションにまとめ、児童集会や保護者に向けて発表した。伝統文化体験や金沢めぐり、加賀友禅作家との描画体験学習などを体験することで実感の伴う学びとなった。金沢市の良さを「調べる」「体験する」「まとめる」「発信する」の一連の活動を通して、改めて地域に対する誇りと地域を愛する心をもつことができた。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

金沢市小学校副読本「華やか金沢」「のびゆく金沢」「子ども金沢市史」金沢伝統工芸ネットHP, 金沢市観光協会HP, 金沢市HP, 石川県HP, いいね金沢加賀野菜HP, パンフレット「金沢の用水」「城下町金沢のみち」「金沢育ちの野菜果物」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

金沢市立浅野川小学校教育課程の総合的な学習の時間のカリキュラムに、ユネスコスクールの活動を位置づけている。3年は「人につながるまち金沢」4年は「伝統が息づくまち金沢」5年は「環境にやさしいまち金沢」6年は「未来に向かうまち金沢」とし、子どもの身近な校区のよさから始め、ひと、体験、活動を重視して金沢の持つ伝統文化を指導内容にして情報収集力やふるさと理解が深まるように定めた。指導方法の工夫としては学校に地域の方を招き直接話を聞いたり、子どもが体験する機会を設けたりして学習を進めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

教育課程に参考となる資料や地域に人材、施設のリストを載せ、6年間を見通して児童に力がつけられるようにしている。また、ワークシートを共有し、前年度のゲストとの資料やコメントを残し、継続的に次年度も体験ができるように、人とのつながりを大切にしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価の評価項目に金沢ふるさと学習において金沢の多様な祖産愛や人材を活用し、金沢について学び、考え、かかわり、広める学習を観点に評価している。具体的な項目としては、①金沢の持つ人材・施設が十分に生かされている回数と、②児童が管沢の待ちに愛着と誇りを持っているかの意識をアンケートにして評価している。成果としては、地域の方の暖かく協力的な姿勢を目の当たりにし、貴重な話を聞かせることができた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

3 年生が金沢市立兼六小学校へで向き、これまでの学習の成果をポスターセッション形式で発表した。兼六小学校の児童の発表も聞くことで、お互いの学習した内容の理解も深まった。4~6 年生は校内の集会の中で学習内容を発表したり、パンフレットを作ったり、授業参観を利用して地域や保護者に発信した。また、金沢ふるさと偉人館で「ふるさと学習展」に学校の成果をポスターにして展示した。効果としては、金沢市の学校がふるさとを大切にして、誇りに思う気持ちが育ったことである。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域の自然・活動を学ぶために浅野川公民館を利用した。地域訪問時に公民館長に話を聞いた。ふるさと偉人館、石川県伝統産業工芸館に協力していただき施設の見学をした。金沢市農業センターに依頼し、加賀野菜畑の見学や体験をさせていただいた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

3 年生が金沢市立兼六小学校と学習交流会を実施した。9 月に依頼し、日程、時間、内容を打ち合わせた。12 月に実施した。浅野川の下流域で校外である本校と、浅野川の中流域で市街地である兼六小学校を選んだ。職員同士児童の交流先を探していて、思惑が一致して交流会が成立した。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

効果として、児童が人の温かさを実際に感じる事ができたことが一番に挙げられる。地域の方は皆温かく、体験活動や講話してくださったからだ。自分たちがたくさんの方に支えられていることを実感していた。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

金沢市立浅野川小学校教育課程の総合的な学習の時間のカリキュラムに、ユネスコスクールの活動を位置づけて、3年は「人につながるまち金沢」4年は「伝統が息づくまち金沢」5年は「環境にやさしいまち金沢」6年は「未来に向かうまち金沢」をテーマに取り組む。子どもの身近な校区のよさから金沢市へ広がるように計画する。ひと、体験、活動を重視して金沢の持つ伝統文化を指導内容にして情報収集力やふるさと理解が深まるように進める。指導方法の工夫としては学校に地域の方を招き、直接話を聞いたり、子どもが体験する機会を設けたりして学習を進める。